

I 次の文章を読み、問1～9に答えよ。問1～7については、それぞれの解答を選び、マーク解答用紙の記号をマークせよ。問8～9については、それぞれの解答を記述解答用紙に記入せよ。

歴史学の研究には史料の解釈が不可欠であるが、ひとくちに史料と言っても、その性格は時代によって様々である。古代史の解明には律令や格式の精読が欠かせないが、法令の文面が当時の政治状況や民衆の生活の実態をそのまま示しているとは限らないし、研究の進展によってその解釈が変わることも少なくない。例えば、天平十五年格とも呼ばれた743年の墾田永年私財法は、古くは律令制の公地公民制の原則を崩し、律令制を動揺させた法令とされてきたが、墾田は租を納めるべき輸租田であり、墾田の増加は国家が支配する土地の拡大を意味することから、近年ではこうした解釈はむしろ逆転しつつある。また、こうした律令・格式など法令の条文は、その注釈書類や『続日本紀』などの史書・法令集など、後世に編纂された編纂史料に収録されたものであり、古代史の研究は、正倉院文書を除くと、こうした編纂史料をベースとした研究にならざるを得ない。

一方、平安時代に入ると、貴族たちが政務のかたわらに記した日記類や、東大寺などの官寺にのこされた文書類などの一次史料がその数を増してくる。なかでも、藤原道長が20年以上にわたって書き継いだ『御堂関白記』は、筆者の政治的地位の高さや、長期間にわたって記事が書き継がれている点でまことに貴重な史料と言えるが、これと同時に書き残された『小右記』・『権記』などの日記が残る点も重要である。とくに前者は、道長の行動に憤慨し、批判的な記述も多く残されていることから、編纂史料や文学作品などからはうかがいがい知れない、当時の宮廷の人間関係の機微が明らかになる点で、きわめて貴重である。

また、こうした日記がそもそも筆者自身の備忘や子孫に先例を伝える目的で書き記されたのに対し、寺社や武士の家などに残された文書は、これを受け取った人物や寺社に対し経済的な利権を保障するなど、直接的に経済的な利害と結びつきながらやりとりされたものが多く含まれている。さらに、このような文書が書き残されるようになって以降、文字の使い手が格段に広がっていったことにも注目すべきである。紀伊国阿武河荘百姓等の訴状は、同荘の番頭（有力百姓）が片仮名を用いて地頭湯浅氏の横暴を告発したものとして知られるが、当時の百姓たちが自らの言葉で荘園領主に対して地頭の非法を告発している様相がはっきりと読み取れる。

このように、ひとくちで史料と言ってもその内容や性格は多種多彩と言える。歴史学を研究する上では、まずはこうした史料の基本的性格をきちんと把握した上で解釈していくことが重要である。

問1 下線部aについての説明として誤っているものはどれか。一つ選べ。

- ア 嵯峨・清和・醍醐の三天皇の時代に編纂された格式のうち、完全な形で現存しているのは弘仁格のみである。
- イ 清原夏野らによって編纂された令の注釈書は詔によって施行された。
- ウ 延喜式は、貞観式以前の式やその後の追加法を一本化して、藤原忠平らが完成させた。
- エ 弘仁・貞観・延喜格の内容は、それらを分類・集成した『類聚三代格』によって知られる。
- オ 惟宗直本は先行する種々の注釈を集成した令の注釈書を編纂した。

問2 下線部bの年について、この年に右大臣から左大臣に転任した人物は誰か。一つ選べ。

- ア 長屋王
- イ 藤原武智麻呂
- ウ 橘諸兄
- エ 藤原仲麻呂
- オ 道鏡

問3 下線部cに当てはまるものの説明として誤っているものは次のうちのどれか。一つ選べ。

- ア 五位以上の位階を持つ者に与えられた位田や官職に応じて与えられた職田は、律令制定当初、輸租田であった。
- イ 六歳以上の男女にはすべて、輸租田である口分田が班給された。
- ウ 寺田・神田からの収入は、寺院・神社の建造費・維持費などに宛てられた。
- エ 天皇の勅により賜った賜田には租が賦課された。
- オ 輸租田であるかないかに関わらず、実際に収穫のあった田地を熟田という。

問4 下線部dに関連する記述として誤っているものはどれか。一つ選べ。

- ア 六国史に共通する歴史叙述法は編年体と呼ばれている。
- イ 国家による国史の編纂は『日本三代実録』以降、明治時代の『大日本史料』の編纂開始まで行われなかった。
- ウ 『続日本紀』の編纂に関わった菅野真道は、藤原緒嗣との徳政相論に敗れた。
- エ 菅原道真は太宰府に左遷されたため、六国史の編纂には関わっていない。『日本三代実録』に関わった。
- オ 六国史編纂という修史事業には、藤原良房・基経ら朝廷を主導した公卿も中心的に関わった。

問5 下線部eに関連する記述として誤っているものはどれか。一つ選べ。

- ア 藤原道長の栄華を詠った「望月の歌」は『御堂関白記』に記されている。
- イ 『御堂関白記』には藤原道長の自筆本が残されている。
- ウ 藤原道長は関白に就任したことはない。
- エ 藤原道長は晩年に法成寺を造営したことから御堂関白と呼ばれた。
- オ 『御堂関白記』は具注暦に記された日次記である。

問6 下線部gに関連する記述として誤っているものはどれか。一つ選べ。

- ア 『小右記』の筆者は藤原実資である。
- イ 筆者の養父は藤原忠平の長男で、安和の変の後、摂政となって摂関常置の道を開いた。
- ウ 筆者の養父・実頼の家系を小野宮流と呼ぶ。
- エ 筆者の養父は太政大臣、筆者は左大臣を務めた。養父実頼は冷泉・円融天皇の摂政。
- オ 小野宮流の藤原公任は『和漢朗詠集』などを編纂した。

『小右記』の「小右」は小野宮右大臣の意味

問7 下の史料は下線部iの原文の一部である。このうち下線を付した部分から読み取れる当時の紀伊国阿武河荘の様相について、正しいものはどれか。

【史料】

阿テ河ノ上村百姓ラツ、シテ言上

一、ランサイモクノコト、アルイワチトウノキヤウシヤウ、アルイワチカフトマウシ、カクノコトクノ人フヲ、チトウノカタエセメツカワレ候ヘハ、ヲマヒマ候ワス候。ソノノコリ、ワツカニモレノコリ候人フヲ、サイモクノヤマイダシエイテタテ候エハ、テウマウノアトノムキマケト候テ、ワイモトシ候ヌ。ヲレラコノムキマカヌモノナラハ、メコトモヲライコメ、ミ、ヲキリ、ハナヲソキ、カミヲキリテアマニナシテ、ナワホタシヲウチテ、サエナマント候ウテ、セメセンカウセラレ候アイタ、ランサイモクイヨイヨヲソナワリ候イヌ。ソノウエ、百姓ノサイケイチウ、チトウトノエコホチトリ候イヌ。

- ア 百姓たちは、逃亡してしまった他の百姓たちの耕地に麦の種を蒔いて飢えを凌いでいる。
- イ 地頭は、命令に従わない百姓の妻たちの耳や鼻を削ぎ切ってしまった。
- ウ 地頭は、百姓の妻たちを尼のようにしてしまうぞと脅して人夫役に従わせようとしている。
- エ 地頭は、自分が麦の種を蒔かなければ、百姓の妻たちは荘園領主に追い籠められてしまうぞと脅している。
- オ 地頭は、百姓たちが麦の種を蒔かないから、妻たちが酷い目に遭っているのだと主張している。

問8 下線部fの筆者で三跡の一人に数えられ、世尊寺流の流祖と仰がれた能書家は誰か。姓名を漢字四字で記しなさい。

藤原行成

問9 下線部hについて、上皇の家政機関が、その職員たちの連署をもって下達した文書を何と呼ぶか。

院庁下文

II 次の史料を読み、問1～9に答えよ。問1～2については、それぞれの解答を記述解答用紙に記入せよ。問3～9については、それぞれの解答を選び、マーク解答用紙の記号をマークせよ。

〈史料1〉

(六月)二十五日、晴。昨日の儀あらあら聞く。一猷^a兩三猷^b猿樂初めの時分、内方どどめく。何事ぞと御尋ねあり。雷鳴かなど三條(1)申さるるところ、御後の障子引きあけて武士数輩出てすなわち公方を討ち申す。(中略)細川下野守・大内等腰刀ばかりにて振舞うといえども、敵を取るに及ばず、手負て引き退く。管領(2)・細川讃州・一色五郎・赤松伊豆等は逃走す。その外の人々は右往左往し逃散す。御前において腹切る人なし。赤松は落ち行く。追い懸け討つ人なし。未練いわんばかりなし。諸大名同心^dか。その意を得ざる事なり。所詮、赤松を討たるべき御企て露顕の間、遮って討ち申すと云々。自業自得の果て、力無き事か。將軍かくの如き犬死に、古来その例を聞かざる事なり。

〈史料2〉

(九月)三日(中略)近日四辺の土民蜂起す。土一揆と号し、御Aと称し借物を破る。少分をもって質物を押し請く。ことBより起こる。守護佐々木の六角張行せしむ。(中略)今日法性寺辺このことあり、火災に及ぶ。侍所多勢をもって防戦すれどもなお承引せず。土民数万の間、防ぎ得ずと云々。賀茂の辺か今夜時の声(3)を揚ぐ。去るC年中、普光院殿(4)の初めのころ、このことあり。すでに洛中に及び了んぬ。その時畠山管領たり。遊佐河内守(5)出雲路において合戦し静謐し了んぬ。今土民ら、代始めにこの沙汰は先例と称すと云々。言語道断の事なり。(九月)十日(中略)今度の土一揆蜂起の事。土蔵(6)一衆先ず管領に訴え、千貫の賄賂を出す。元来政道の為、蓋吹を止め防戦すべきの由、領状の処、今はこれを防ぎ得ず。諸大名畠山等かつがつ同心せざる人々これ在り。よって管領千貫を返し、防禦を止むと云々。

(1) 三條…正親町三條実雅。公卿。(2) 管領…細川持之。(3) 時の声…関の声のこと。勝ち関。(4) 普光院殿…足利義教。(5) 遊佐河内守…遊佐國盛。遊佐氏は畠山氏譜代の家臣。(6) 土蔵…土倉。

問1 空欄Aに入る語を漢字で答えよ。徳政

問2 空欄Cに入る語を漢字で答えよ。正長

問3 史料1・2はそれぞれ別の人物が記した、ある同じ年の日記の一節であるが、この年は2月に改元している。このことに関連して述べた文として、正しいものはどれか。一つ選べ。

- ア この年は將軍の代始めにあたるため、改元された。
- イ この年は土一揆の発生によって、改元された。
- ウ この年は辛酉年(革命年)にあたるため、改元された。
- エ 江戸時代以前において、改元されたのは天皇の代始めの時のみである。
- オ 江戸時代以前において、彗星の出現による改元はあるが、大飢饉や戦乱による改元はない。

問4 下線部aは酒宴を意味するが、この宴会は、前年から関東で起きていた戦乱に幕府側が勝利したことを祝う名目で開かれた。その戦乱として正しいものはどれか。一つ選べ。

- ア 永享の乱
- イ 明徳の乱
- ウ 享徳の乱
- エ 結城合戦
- オ 上杉禅秀の乱

問5 下線部bに関連して、大和猿樂四座にあてはまらないものはどれか。一つ選べ。

- ア 観世座
- イ 宝生座
- ウ 金春座
- エ 山階座
- オ 金剛座

問6 下線部cについて、その落ちのびた先の領国はどこか。一つ選べ。

- ア 播磨
- イ 阿波
- ウ 美濃
- エ 越前
- オ 駿河

問7 下線部dの意味はどれか。一つ選べ。

- ア 諸大名も將軍の死に責任をとるべきではないだろうか。
- イ 諸大名も將軍殺害に同意していたのだろうか。
- ウ 諸大名も將軍暗殺事件が起こってしまったことを後悔したのだろうか。
- エ 諸大名も將軍とともに暗殺されてしまったのだろうか。
- オ 諸大名も謀反人の追討に同行するのであろうか。

問8 空欄Bに該当する国名はどれか。一つ選べ。

- ア 河内
- イ 摂津
- ウ 近江
- エ 遠江
- オ 丹波

問9 下線部e・fの事態の結果、この年に起きた出来事の説明として、正しいものを一つ選べ。

- ア 大和の柳生で、債務の破棄を宣言する碑文が村の入り口に刻まれた。*播磨の土一揆 1429年*
- イ 播磨の土民たちが、守護の家臣を国外へ追放するという要求を掲げた。*1536年*
- ウ 日蓮宗信徒が多かった京都の商工業者たちは、自衛のため法華一揆をむすんだ。
- エ 室町幕府が債権・債務の一定割合を納めさせ、債権保護や債務破棄を認める慣例が定着した。*分-銭*
- オ 室町幕府として土地の取り戻しや債務の破棄を認める徳政令が、初めて出された。

Ⅲ 次の文章と史料を読み、問1～10に答えよ。問1～3については、それぞれの解答を記述解答用紙に記入せよ。問4～10については、それぞれの解答を選び、マーク解答用紙の記号をマークせよ。

江戸時代は、幕府による宗教統制が強まった時代でもあった。そのことの一端は、下記の史料1～3に示されている。これらはいずれも、寛文期(1661～1673)に幕府から発せられた。戦国時代以前は、公家や武家と並んで宗教勢力も権力の一角を占めていたが、江戸時代では武家権力のもとに宗教も管理されるようになった。

しかし、江戸幕府や諸藩が宗教と無縁の権力だったというわけではない。初代将軍徳川家康が **A** として祀られたり、各地の初代藩主が神格化されたりしたことに表れているように、幕藩領主も宗教的な権威によって自らの正統性を示そうとした。江戸時代中期以降、『古事記』が語る神話の神々を祖先神に持つ天皇とそれを支える朝廷によって、幕府権力の正統性を保証するという考えが強調されるようになっていく。

一方、幕府による統制の中にあつて、人々の宗教活動は活発であつた。近世社会では、権力によって許容されている神仏信仰のほか、禁止されているはずの宗教活動も存在した。もちろん、禁制宗教は発覚すれば厳罰に処せられたが、幕末まで潜伏状態のまま継承されたことが知られている。

〈史料1〉

一 無位の社人、白張(注)を着すべし。そのほかの装束は、**B** の許状をもってこれを着すべし

(注)白張：白布の狩衣のこと。

〈史料2〉

一 **C** の規式これを乱すべからず。たとえ本寺たるといえども、末寺に対し理不尽の沙汰あるべからざる事

〈史料3〉

一 百姓・町人は、五人組、**D** をいよいよ改め、不審なる宗旨これあるにおいては、穿鑿をとぐべき事

問1 空欄 **A** に該当する名称を、漢字五字で記せ。

東照大権現

問2 空欄 **B** には公家の家名が入る。該当する名称を漢字二字で記せ。

吉田

問3 江戸時代、全国の仏教寺院は、それを統制する **C** 制度のもとに編成された。空欄 **C** に該当する語を記せ。

本末

問4 史料1・2の法令名の組み合わせで、正しいものはどれか。一つ選べ。

- ア 1—諸社禰宜神主法度 2—諸宗寺院法度 イ 1—服忌令 2—禁中並公家諸法度
 ウ 1—禁中並公家諸法度 2—服忌令 エ 1—服忌令 2—諸社禰宜神主法度
 オ 1—禁中並公家諸法度 2—諸宗寺院法度

問5 下線部 a のときの将軍は誰か。一つ選べ。

- ア 徳川家光 **イ** 徳川家綱 ウ 徳川綱吉 エ 徳川吉宗 オ 徳川家重

問6 下線部 b の存命中の出来事はどれか。二つ選べ。

- ア 一国一城令発令 **1615年** イ 出島建設 **1634年** ウ シヤクシャインの戦い
 エ 島原天草一揆 **1637年** オ 薩摩藩の琉球侵攻 **1609年** **1669年**

問7 下線部 c の考え方に基づく尊王論と、外国勢力を武力で追い払うことを主張する攘夷論とが結合する政治思想が隆盛する契機になった著作はどれか。一つ選べ。

- ア 『夢の代』 イ 『戊戌夢物語』 ウ 『統道真伝』
エ 『新論』 オ 『慎機論』

問8 下線部 d に関連して、江戸時代の社会についての説明として、正しいものはどれか。一つ選べ。

- ア 鎖国という条件のもと、難破によって外国に漂流してしまった者で、帰国した者はいなかった。
 イ 幕府のもとに商業が統制されていたので、村には商人は存在しなかった。
ウ 領主から村への指示は文書により行われ、村は村民の自治によって運営されていた。
 エ 身分が固定されていたので、百姓が武士になることは不可能だった。
 オ 城下町の面積は、町人地が大部分を占めていた。

問9 下線部 e に関連して、江戸時代の宗教についての説明で、誤っているものをすべて選べ。

- ア 禅宗の一派である黄檗宗が、明僧の隠元隆琦によって17世紀に伝えられた。
 イ 修験道には、聖護院門跡を本山とする本山派と、三室院門跡を本山とする当山派があった。
 ウ 陰陽師を統括したのは、公家の土御門家であった。
エ 法華経を信じない者から布施を受け取っても、その見返りに施しを与えないのが日蓮宗不受不施派であった。
オ 禁教下にあつてもキリスト教徒が存在したのは、宣教師が密かに渡ってきたからである。

問10 空欄 **D** に該当する語はどれか。一つ選べ。

- ア 朱印状 イ 氏神 **ウ** 檀那寺 エ 身分 オ 検地帳

IV 次の文章を読み、問1～8に答えよ。問1～2については、それぞれの解答を記述解答用紙に記入せよ。問3～8については、それぞれの解答を選び、マーク解答用紙の記号をマークせよ。

朝鮮では、1894年、地方官の圧政を契機として、**A** 戦争と呼ばれる大規模な農民反乱が広がった。朝鮮政府の要請によって清国が出兵すると、日本軍も大規模な兵を派遣した。農民の蜂起がおさまったのちも、朝鮮の内政改革をめぐって日清両国は対立を深めた。日本は、朝鮮の王宮を占拠し、清国艦隊と交戦状態になり、ここに日清戦争が開始された。

日本は清国に対して軍事的に優位に立ち、日清間で講和条約（下関条約）を結んだ。日本は、三国干渉により遼東半島を返還したものの、植民地として台湾を獲得し、東アジアの帝国主義国家としての道を歩むことになった。1910年、日本は軍事力を背景に、**b** 韓国併合を断行した。

その後、第一次世界大戦がおき、大戦後にヴェルサイユ条約が結ばれ、民族自決の原則がうたわれると、アジアにも影響を与え、大戦後のアジアでは、民族自決の考えに基づくナショナリズムが高まった。日本統治下の朝鮮でも、1919年3月1日、京城（現ソウル）で朝鮮の独立を宣言する集会とデモが行われ、運動はまたたく間に朝鮮全土に広がった。日本で民衆の工芸に独自の美を発見して民芸と名づけ、朝鮮の陶芸や美術にも関心を寄せていた **B** は、朝鮮におけるこの運動に理解を示した数少ない日本の知識人の一人だった。

韓国併合後、日本本土の朝鮮人は、1911年には2500人にすぎなかったが、1920年に3万人、1930年に30万人、1940年に110万人、1944年に190万人と増加した。

戦時下の朝鮮では、「皇民化」政策が進められ、1939年ごろから日本語の使用が強制され、また家族制度や名前を日本式に改める **C** が行われた。

日本がポツダム宣言を受け入れて降伏すると、東アジアでは独立をめざす運動が勢いを増したが、戦後の冷戦の影響を強く受けた。朝鮮半島では、統一政権の樹立がめざされたものの、1948年、大韓民国と朝鮮民主主義人民共和国にわかれて独立した。1950年、朝鮮民主主義人民共和国の軍隊が北緯38度線を越え、**e** 朝鮮戦争が始まった。

問1 空欄 **A** にあてはまる語を、漢字で示せ。 **甲午農民**

問2 空欄 **C** にあてはまる語を、漢字で示せ。 **創氏改名**

問3 下線部 a に関する説明として、誤っているものはどれか。一つ選べ。

- ア 下関条約で清は、朝鮮の独立、遼東半島および台湾・澎湖諸島の割譲、賠償金2億兩などを日本に約束した。
- イ** 下関条約調印直後、ロシアは、極東の平和を口実として、イギリス・フランスとともに、日本に遼東半島の清への返還を要求した。
- ウ 日清戦争で清が敗れると、列強はいっしょに中国に進出し、鉄道敷設や鉱山開発の権利を獲得した。
- エ 日清戦争後、朝鮮でロシアの影響力が強まると、日本公使はクーデターを画策し、明成皇后（閔妃）らを殺害した。
- オ 閔妃殺害事件は、朝鮮民衆の日本に対する反感を強め、抗日義兵運動が広がった。

問4 下線部 b に至る経緯を説明した、以下の①～④の文章を年代順に並べると、正しいものはどれか。一つ選べ。

- ① 初代統監をつとめた伊藤博文が暗殺された。 **1909**
 - ② 韓国皇帝が日本の韓国支配の不当性を国際社会に訴えたハーグ密使事件がおきた。 **1907**
 - ③ 日本は、韓国が日本の要求に従うことを定めた日韓議定書を押し付けた。 **1904**
 - ④ 日本は、韓国支配を認めさせるために、アメリカとのあいだで密約を結んだ。 **1905**
- ア ②→③→①→④ イ ④→②→③→① **ウ** ③→④→②→①
- エ ③→②→①→④ オ ④→③→①→②

問5 下線部 c に関する説明として、誤っているものはどれか。一つ選べ。

- ア** パリ講和会議後、国際紛争を平和的に解決する国際機関として国際連盟が設置され、日本は4常任理事国の一つになった。
- イ ヴェルサイユ条約の結果、敗戦国ドイツは、植民地などの放棄、巨額な賠償金の支払いを課せられた。
- ウ** ヴェルサイユ条約により、日本は赤道以北の旧ドイツ領南洋諸島を植民地として得た。
- エ アメリカ合衆国大統領ウィルソンが14か条の平和原則を提唱し、パリで講和会議が開かれた。
- オ 日本は、パリ講和会議に、元首相の西園寺公望を全権大使として派遣した。

問6 空欄 **B** の人物はだれか。一人選べ。

- ア 鈴木三重吉 イ 竹久夢二 ウ 山本鼎 **エ** 柳宗悦 オ 志賀直哉

問7 下線部 d の背景を説明した、以下の①～③の文章について、正誤の正しい組み合わせはどれか。一つ選べ。

- ① 朝鮮総督府が統治する朝鮮では、土地所有権を確定して地税を徴収する土地調査事業が実施された。
 - ② 土地調査事業の結果、多くの土地が私有地に編入された。
 - ③ 日中戦争以降になると、朝鮮の人びとは朝鮮総督府の行政機関や警察の圧迫のもと、日本本土に強制的に動員された。
- ア ①—正 ②—正 ③—正 イ ①—正 ②—誤 ③—誤 **ウ** ①—正 ②—誤 ③—正
- エ ①—誤 ②—正 ③—正 オ ①—誤 ②—誤 ③—正

問8 下線部 e が始まると、GHQの指令により日本に新設されたものはどれか。一つ選べ。

- ア 保安隊 イ 国連軍 **ウ** 警察予備隊 エ 自衛隊 オ 海上警備隊

V 次の史料を読み、問1～7に答えよ。問1～2については、それぞれの解答を記述解答用紙に記入せよ。問3～7については、それぞれの解答を選び、マーク解答用紙の記号をマークせよ。

〈史料1〉

元始、女性は実に **A** であった。真正の人であった。

今、女性は **B** である。他に依って生き、他の光によって輝く、病人のような蒼白い顔の **B** である。

さてここに **C** は初声を上げた。(中略)

私共は隠されてしまった我が **A** を今や取戻さねばならぬ。「隠れたる我が **A** を、潜める天才を発現せよ。」⁽¹⁾こは私共の内に向っての不断の叫聲、押えがたく消しがたき渴望、一切の雑多な部分的本能の統一せられたる最終の全人格的唯一本能である。

〈史料2〉

D 町は、全町の大部分は出稼ぎ漁業をもって生計を立てつつあるが、漁夫の出稼ぎ先なる樺太方面は非常の不漁にして、仕送り金全く杜絶え、かえって帰路の旅金さえなく、留守居の家族に向け送金を申込み来る有様なるより、^a昨今の米価暴騰にて家族は生活の困難甚しく、今や喰うや喰わずの悲惨の状態に陥れり。果然昨日午後七時過ぎより漁師町一帯の女房連は海岸に集合し、その数百七、八十名に達せるが、たちまち五、六十名ずつにて三隊に別れ、一隊は浜方有志方へ、一隊は町内有力者方へ、一隊は町中の米屋及び米所有者の宅を襲うて現下の窮状を訴えて、所有米は決して他地に売却せざる事、この際義侠的に米の廉売を為されたしと哀願し、なおもし之を聴かれざれば、家を焼払へ、一家を殺せんと脅迫して、事態穏かならず。

問1 空欄 **A** と空欄 **B** にあてはまる語を、漢字で示せ。

問2 史料1は、1911年に発刊された空欄 **C** に掲載されたものである。空欄 **C** にあてはまる語を、漢字で示せ。

問3 史料1の著者の活動の説明として、誤っているものはどれか。一つ選べ。

- ア 婦人参政権獲得の運動を進めた。
- イ 市川房枝らとともに新婦人協会を組織した。
- ウ** 社会主義の立場に立つ女性団体「赤潮会」を組織した。
- エ 女性・未成年者の政治活動を禁止した治安警察法の改正を要求した。
- オ 史料1の著者らは、「新しい女」と呼ばれた。

問4 空欄 **D** が属する県はどれか。一つ選べ。

- ア 新潟県 イ 石川県 ウ 福井県 **エ** 富山県 オ 山形県

問5 史料2の下線部aに関して、米価暴騰の背景には、大戦景気があった。大戦景気の説明として、誤っているものはどれか。一つ選べ。

- ア 大戦景気の最中に、河上肇は『貧乏物語』を発刊し、ベストセラーになった。
- イ 大戦景気の背景として、第一次世界大戦が始まると、ヨーロッパ列強が軍需生産に集中し、アジアの市場から手を引いたことがあった。
- ウ 大戦景気は資本家をうるおし、成金ブームをもたらした。
- エ 大戦景気のもとで、海運業と造船業、鉄鋼業、機械工業などが発達し、重工業化が進展した。
- オ** 大戦景気のもとで、紡績業は不況におちいった。

問6 史料2の米価暴騰の背景には、シベリア出兵をにらんだ米穀商人の米買い占め、売り惜しみもあった。シベリア出兵についての説明として、正誤の正しい組合せはどれか。一つ選べ。

- ① ロシア革命による社会主義の影響をおそれた日本・アメリカ・イギリス・ドイツは、共同でシベリア出兵を開始した。
 - ② シベリアに出兵した欧米列国は、第一次世界大戦後に撤兵したが、シベリアなどへの勢力拡大をねらった日本は、その後も駐兵を続けた。
 - ③ 欧米列国の非難をあびた日本は、1922年にようやく撤兵した。
- ア ①—正 ②—正 ③—正 イ ①—正 ②—誤 ③—正 **ウ** ①—誤 ②—正 ③—誤
 エ ①—誤 ②—正 ③—正 オ ①—誤 ②—誤 ③—正

問7 史料2の動き以後、それまで従属させられていたり、差別されていたりした人びとは解放を求め、社会運動を展開させた。史料2以後の社会運動についての説明として、誤っているものはどれか。一つ選べ。

- ア 長年にわたり差別に苦しめられてきた被差別部落の人びとは、解放をめざす全国水平社を結成した。
- イ** 栃木県の足尾銅山で、鉱毒に苦しめられた農民は、栃木県選出の衆議院議員の田中正造を先頭に、鉱毒防止と被害民の救済を求める運動を起こした。足尾銅山鉱毒事件は1900年前後
- ウ 農村で土地を持たない小作農民が地主に対して小作料の引き下げを求める小作争議が増加した。
- エ 1920年、日本ではじめてのメーデーが行われた。
- オ 社会主義・共産主義の思想が広まり、日本共産党が非合法のもとに組織された。

[以下余白]